

(一社)日本高圧力技術協会 技術セミナー

第17回 エネルギー貯槽セミナー ～EST技術の新展開～

平成29年2月2日(木) 開催

エネルギー貯槽等安全性研究専門委員会(略称 EST 委員会)では毎年1回技術セミナーを開催し、エネルギー貯槽の安全性向上に寄与することを目指して参りました。

本年度は、副題「EST 技術の新展開」を主テーマとして、隅角部クリティカルゾーン、熊本地震被害、非破壊検査、水素ステーション、高圧水素容器、腐食センサ、ドローンに関する最新技術やホットな話題を詳しく解説します。

■■プログラム■■

9:30 ～ 10:20	① 鋼製円筒タンク隅角部アニュラ板のクリティカルゾーン 河野和間(元横浜国立大学) 我国では、内部開放時溶接補修における隅角部クリティカルゾーン(側板内側からの半径方向幅)値として600mmが採用されており、現状の世界水準値3インチ(76mm)に比べて保守的なものとなっている。そこで、補修コスト低減のため、発生応力に基づく合理的なクリティカルゾーン等について調査・検討した。
10:30 ～ 11:20	② 2016年熊本地震の際の長周期地震動と石油タンクのスロッシング被害 畑山 健(消防研究センター) 2016年熊本地震本震の際に大分地区等の石油コンビナート地域で観測された長周期地震動の特徴と大分地区石油コンビナート地域内に立地する石油タンクにおけるスロッシング及び浮き屋根の被害の発生状況について述べる。
11:30 ～ 12:20	③ 石油タンク底板突合せ溶接部のコーティング上からの非破壊検査技術の検討 荒川敬弘(IHI 検査計測) (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構殿からの委託を受けて開発した、石油タンク底板突合せ溶接部のコーティングを剥離することなく、コーティング上から突合せ溶接部を超音波探傷する検査システムについて紹介する。
13:00 ～ 13:50	④ 水素ステーションの安全性評価 笠井尚哉(横浜国立大学) 現在、次世代エネルギーキャリアとして、水素が注目されており、その社会実装のために水素ステーションの建設が進められている。本講演では、国内外の水素ステーションの事故事例を解析した結果、及び水素ステーションの安全性を評価した事例について述べる。
14:00 ～ 14:50	⑤ 高圧水素容器の設計、施工、維持管理 吉川暢宏(東京大学) 炭素繊維強化プラスチックのフィラメントワインディングにより製造される高圧水素容器は、燃料電池自動車および高圧水素スタンドの基幹部品であり、水素社会実現のカギを握る。信頼性と経済性を両立させた高圧水素容器の開発のための課題を、設計、施工、維持管理の観点から論じる。
15:00 ～ 15:50	⑥ ACMセンサの原理やアプリケーションを含めた大気腐食性評価 鈴木智康(シュリンクス) 大気腐食は気象条件、海塩、腐食性ガスが複合的に作用しておこる。降雨は腐食を促進する一方抑制する効果もあり評価が難しい。ACMセンサは腐食因子にかかわらず大気中での腐食性を評価することができる。その原理と使い方について説明する。
16:00 ～ 16:50	⑦ ドローン技術の現状と応用事例 加藤克己(日本赤外線サーモグラフィ協会) 空の産業革命といわれるドローン。 2013年頃から、ビジネスへの利用が始まり、民生利用も加速度的に拡大している。ドローンの基礎から、インフラ設備・プラント設備等への応用の可能性、および課題について、サーモグラファーかつ産業用無人ヘリ技能認定オペレータとしての視点で、最新の情報の概要を解説する。

■開催要領■

開催日：平成29年2月2日（木）

会場：自動車会館 2階 大会議室 東京都千代田区九段南 4-8-13

地図 <http://www.jidosya-kaikan.com/map.html>

定員：80名

主催：一般社団法人 日本高圧力技術協会

協賛団体*：高圧ガス保安協会、(一社)日本非破壊検査協会、(一社)日本機械学会、(公社)石油学会、(公社)化学工学会、石油連盟、(一社)日本鉄鋼協会、日本高圧力学会、(一社)日本溶接協会、特定非営利活動法人安全工学会、石油化学工業協会、(一社)日本原子力学会、(一財)日本規格協会、危険物保安技術協会、(公社)腐食防食学会、(公社)日本材料学会、(一社)溶接学会、(一社)日本ガス協会、(公財)溶接接合工学振興会、(一財)発電設備技術検査協会、(一財)エンジニアリング協会、日本LPガス協会 (一財)石油エネルギー技術センター、(一社)火力原子力発電技術協会 (順不同)

■参加費（テキスト代、昼食代含、全て消費税込）■

会員：30,860円 ※1社で3名以上同時にお申込の場合、お一人様 25,710円

『会員』対象は以下の通りです。

①ご所属先が当協会の団体会員企業の方

《貴社が団体会員企業であることを調べるには》

当協会のHP <http://www.hpj.org/>→メニュー→「HPIの情報公開」① [団体会員名簿一覧表](#)でご確認下さい。

②当協会の個人会員としてご登録いただいている方

③ご所属先が、本セミナーの協賛団体の会員として登録されている方

※上記 ■ **開催要領** ■の『協賛団体』をご参照ください。

非会員：36,000円 ※1社で3名以上同時にお申込の場合、お一人様 30,860円

■お申込み要領■

① 参加申込書に必要事項をご記入の上、E-mail 又は FAX、または当協会 HP より <http://www.hpj.org/event/> 平成29年1月27日（金）までにお申込みください。

② 参加申込書を受領後、1週間以内に請求書をお送りします。

参加費は開催日前日までに、請求書の郵便口座、又は銀行口座へお振り込みください。

参加費のお振り込み後の、返却には応じられませんので、ご了承ください。

③ 受講券を、開催日の2週間前にメールでお送りします。

④ テキストは、セミナー当日、受付にてお渡しします。

⑤ ご不明な点は、セミナー事務局（一社）日本高圧力技術協会 田中夕香子までお問い合わせください。

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-7-1 三恵日本橋ビル7階

TEL/FAX 03-3516-2270 / 2271 E-mail tanaka@hpj.org URL <http://www.hpj.org/>

参加申込書は次のページです！！

(一社)日本高圧力技術協会 技術セミナー参加申込書

各項目をご記入の上、E-mail 又は FAX にてお申し込みをお願い致します。

E-mail: tanaka@hpij.org FAX:03-3516-2271

セミナー名	第17回 エネルギー貯槽セミナー ～EST 技術の新展開～ (H29.2.2)	
フリガナ 参加者名	①	E-mail アドレス
	②	E-mail アドレス
	③	E-mail アドレス
	④	E-mail アドレス
参加者種別	<input type="checkbox"/> (□にチェックを入れて下さい) <input type="checkbox"/> 個人会員 <input type="checkbox"/> 団体会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 協賛団体会員(協賛団体名を記入してください:)	
勤務先 ご所属先名		
勤務先住所	〒	
TEL/FAX		
参加費種別	1名でのお申し込み (□にチェックを入れて下さい) <input type="checkbox"/> 会員価格 30,860円 <input type="checkbox"/> 非会員価格 36,000円 3名以上でお申し込み (□にチェックを入れてください) <input type="checkbox"/> 会員価格 25,710円 <input type="checkbox"/> 非会員価格 30,860円 ※会員価格は、当協会の団体会員、個人会員、及び本セミナーの協賛団体の会員に適用されます。 ※全ての消費税込の金額です。	
振込み予定日	月 日	
備考		

当協会ではお客様の個人情報の取扱いについては、プライバシーポリシーを定め適切に管理を行います。詳細は、当協会の HP <http://www.hpij.org/> →メニュー→「個人情報保護方針」をご覧ください。